

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

事業所名 豊中市立児童発達支援センター

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		・アセスメントに基づき、個別に視覚支援等を取り入れている。 ・伝わりにくいと感じた際には写真・絵・具体物を活用して伝えている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		・日々の清掃・活動によって空間の使い分けを行っている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		・毎日の療育内容、個別支援について振り返りを行っている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		・現地点ではないが、今年度末に実施予定。他機関からの見学やスーパーバイズの機会を作り業務改善を図っている	評価をうけ、事業所内で周知し、迅速な業務改善につとめます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・積極的に研修を受けたいです ・ジャスパー研修・PECSの研修など参加している。 ・法人研修や外部の研修も多く学べてよい。 ・その都度行っている。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		・初回～3回目までのアセスメントセッションで標準化されたツールを抜粋して実施している(カラフル)	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
一 な 支 援 の	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・季節や時期を考慮して行っている。 ・活動の流れを変えたり、季節に応じたプログラムを心がけている ・毎月設定遊びを決め、活動が毎日変わるように工夫している。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		・お子さんに合わせて個別活動や課題の機会を設けている。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・朝礼・終礼時間に細かな役割分担を確認している	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		・半年に1回実施している	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			・担当者会議について、引き続き担当職員が参画できるよう調整し、その情報を職員間で共有していきます。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○			・引き続き、関係機関と連携した支援を行っていきます。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○			・引き続き、関係機関と連携した支援を行っていきます。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・直接共有はしていないが支援計画を他機関に共有してもよいことを保護者に伝えたり、支援手帳の情報提供を行っている ・支援手帳の情報共有を図っている。 ・就園先に訪問し、引継ぎ業務を行っている。	・引き続き、園や学校との情報共有をすすめていきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			・引き続き、園や学校との情報共有をすすめていきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		・研修などの機会をよく設けてくださっています	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者との連携	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		<ul style="list-style-type: none"> ・地域のこども園の園庭開放を紹介したりしている。 ・交流や事業所外の子どもと活動する機会はないが地域で活動するプログラムを実施している。 ・園庭開放へ保護者とお子さんのみで行くことが不安な方は職員が同行している。 ・園庭開放や保育観察で関わる機会がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・こども園見学や園庭開放への同行など、交流の機会はとても大切であると考えています。今後も、地域の公園や施設に出かけるなど自然な場面での交流について、引き続き実施、検討を行なっていきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加している	○			<ul style="list-style-type: none"> ・市担当課と調整の上、市の会議で事業説明を行うなどの取り組みを実施しています。今後も市と連携し、参加をしていきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○			<ul style="list-style-type: none"> ・今後も家族支援プログラムについて職員間で共有し、支援に活かしています。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・その都度行っている。 	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・個別に計画書の同意を得る機会を設定している。 	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・十分留意しているが、保護者側からはどのように感じているか気がかりに感じる。 ・日々の振り返りの時間を活用して行っている。 ・先輩職員と一緒に面談を行い、助言や支援方法について知識を深めている。 	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・座談会や支援グッズ作成会など保護者同士がつながる機会を設定した。 	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・クラスのおたより等それぞれの事業で配信している。 	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・十分注意しています。名前の書いた書類を破棄する時はシュレッダーしています 	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・写真や具体物を使用して行っている。 ・気持ちをお互いに伝え合えるよう十分配慮しています 	
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・遠足や公園のお出かけ、お買い物経験など地域にできる活動を取り入れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所での行事というよりは、地域の公園や施設に出かけていくなどして自然な場面で地域との交流を行えるよう、引き続き実施、検討を行なっていきます。 	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		・各委員会を設けている。 ・利用者の方と一緒に避難訓練を行っている。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		・月に1度避難訓練を実施している。 ・毎月、場面設定をして訓練を行っている。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		・入所時の書類を事前確認し、サインをしている。 ・面談時に必要に応じて聞き取りしている	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		・食事の機会はご家庭から持参されたおやつを食べるのみ(カラフル)	・豊中市の書式に基づいて、アレルギー対応を実施しています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		・ヒヤリハット委員で、毎月ヒヤリハットの傾向など情報共有を行っている。 ・積極的にヒヤリハットをあげている ・部署ごとに毎日ひやりはつとを共有している。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・権利擁護の研修を事業所内で受けました。	
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○				

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。